

ノイエスだより

ノイエス朝日(朝日印刷工業株式会社)
群馬県前橋市元総社町七三-1-5
TEL 027-2555-3434
FAX 027-2555-3435
<http://www.neues-asahi.jp>

意図的なことと創発的なこと

朝日印刷工業株式会社社長 石川 靖

ハーバード・ビジネス・スクールのクリステンセン教授が言うように、私たちは人生においても事業においても、意識していい方がいいが、常に意図的戦略か創発的に現れる予期されない選択肢のどちらかを選びながら進んでいこうとします。意図的要因と創発的要因との選択においてどちらが優れているとか劣っているとかではなく、どちらを選ぶべきかは、その時、自分がどの位置にいるか、どんな状況に置かれているかによって決まります。

今年、イングランドで開催されたラグビーワールドカップでの日本代表の活躍には驚きました。特に初戦の南アフリカ戦での勝利は私にとって生涯忘れられない衝撃的な出来事でした。まさに南アに勝つためにはどうしたらいいかという徹底した意図的戦略(準備力とでもいいましょうか)と、その場その場での創発的戦略の積み重ねが結果的に勝利に結びついていったということです。あの多くの偶発的な出来事の中で、ひとつの何かの判断が違っていたら(いい悪いはともかくとして)結果は大きく変わっていたでしょう。スポーツの世界に「たら、れば」は禁句かもしれませんが、もしかしたら大敗していたかもしれないし、大勝していたかもしれません。

先日、あるエッセイを読んでいたら、こんな文章に出くわしました。

クリントンが大統領だった頃、クリントン夫妻のもとにヒラリーの元ボーイフレンドという男性が訪ねてきたそうです。小さな町工場を経営する彼が去ったあとクリントンがヒラリーに言ったそうです。

「君の選択は正しかったね。町工場で働く彼ではなく、一国の大統領のこの僕を選んだんだから」。するとヒラリーが言ったそうです、「あら、私が彼と結婚していたら、あなたではなく彼が大統領になっていたわよ」。

冗談のようだが、もしかしたらそうかもしれない。私はヒラリーの言うことはまんざら間違っていないのではないかと思うのです。

今年もお世話になりました。

来年も意図的戦略と創発的戦略でがんばります。

ノイエス朝日(展覧会)のご案内

四ツ井健 × 藍田愛郎

友禅染 江戸小紋
— 染・彩々展 —

会期 一月五日(火)～十七日(日)

午前十時～午後五時三十分

会場 ノイエス朝日 スペース1・2

石川県で伝統美にさらに現代の様式を取り入れ作品づくりをしている四ツ井健氏と地元群馬で伊勢型紙により繊細な技術に挑戦し続ける藍田愛郎氏による展覧会です。是非、皆様ご来廊いただき二人の鍛錬された作品の数々をご高覧下さい。

四ツ井氏は、五・九・十一・十六・十七日は在廊。

藍田氏は、期間中終日在廊予定です。お待ちしております。

四ツ井健氏と藍田愛郎氏から、新年の展覧会に向けて、お二人の共同制作の作品(写真)と挨拶文をいただきましたのでご紹介いたします。

自然との対話

四ツ井健

私の趣味に登山があります。小学五年生の時に父に白山に連れて行ってもらった事がきっかけだと思います。仕事等でここ数年間はあまり行く事が出来ませんでした

が今では積極的に行っております。

自分の今ある環境を生かした生き方を積極的に取り入れる事が、他の人とは違ったオリジナルな生き方に繋がるのではないかと気づいた事がきっかけです。

金沢で生まれ、石川で育ち、海があり、山がある環境を最大限に生かす。加えて好きな登山で出会った花や大地の自然の恵みを自らの仕事に積極的に取り込む事がオリジナルな生き方になると思っています。

今回の展覧会では今年出合った自然の恵みを描いた作品もあります。山や自然が大好きな方にも是非ご高覧頂けると幸いです。

ご挨拶

藍田愛郎

今回の展覧会の見どころは、共同制作した着物と帯です。二点共、先に四ツ井さんが友禅をし、模様を染まらないように糊で伏せ、その上から江戸小紋を染め上げました。着物は、動きのある伸びやかな唐草の中に透き通って見える菊の花が咲き、見ていると吸い込まれる感覚になります。そこにちりばめられた大小の箔がお互いを引き立て、落ち着きのある着物になっています。

帯は、名古屋帯になっており、桜の友禅に斜めの薩摩縞が染めてあります。この縞の型紙はとても貴重で現存しているのもすごいことです。そういった物も使わせてもらいながら今回の二人展の運びとなりました。

また、袱紗やショールも出展します。

この機会に是非二人の仕事を見て頂きたいです。お時間がありましたらお出かけ下さい。



「帯」 四ツ井健×藍田愛郎

小栗康平監督作品「FOUJITA」を多くの方が観賞され、ノイエスに来廊された折に感想を話していきます。戦後七〇年にあたる今年、多くの人々は今だ答えの出ない問題を真剣に考え、再び映画を見に、そして関連書籍を読んだりしています。「FOUJITA」は、十二月二十六日からシネマテーク高崎で上映されます。今年も多くの方々にもノイエスにご来廊いただき、また「ノイエスだより」を読んでいただき、いろいろなご意見をいただきました。心よりお礼を申し上げます。

来年も皆様に楽しんでいただける場としてのノイエス健康に気をつけて良い年をお迎え下さい。(武藤)